

本文と合わない文をえらぼう

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 地球温暖化を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

石油や石炭を大量にもやすと二酸化炭素が増えます。二酸化炭素には地表からにげる熱を閉じこめるはたらきがあるため、増えすぎると気温が上がります。気温の上昇は氷をとかし、海面を上げます。だからこそ、燃料の使い方を見直す取り組みが進められています。

- 1 二酸化炭素は熱を閉じこめる。
- 2 二酸化炭素が増えると気温が下がる。
- 3 気温の上昇は海面を上げる。
- 4 燃料の使い方を見直している。

2 言葉と文化を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

言葉は、ただ用件を伝える道具ではありません。方言や昔からの言い回しには、その土地の人々のものの見方がしみこんでいます。言葉を大切にすることは、そこにこめられた文化を受けつぐことでもあります。だから、言葉を軽くあつかってははいけません。

- 1 言葉は用件を伝えるだけの道具である。
- 2 方言には人々のものの見方がしみこんでいる。
- 3 言葉を大切にすることは文化を受けつぐことでもある。
- 4 言葉を軽くあつかってはいけない。

3 多様性の意味を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

人にはそれぞれちがう考えがあります。意見がぶつかるとめんどろに思えるかもしれませんが、さまざまな見方が集まるからこそ、一人では気づけない新しい答えが生まれます。ちがいをみとめ合うことは、社会を豊かにします。

- 1 人にはそれぞれちがう考えがある。
- 2 さまざまな見方から新しい答えが生まれる。
- 3 みんなが同じ考えのほうが新しい答えが生まれる。
- 4 ちがいをみとめ合うと社会が豊かになる。

本文と合わない文をえらぼう

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 失敗から学ぶを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

だれでも失敗はしたくないものです。しかし失敗は、なぜうまくいかなかったのかを教えてくれる手がかりでもあります。失敗をおそれてかくすよりも、その原因を見つめ、次に生かそうとする人こそ成長します。

- 1 だれでも失敗はしたくない。
- 2 失敗はうまくいかない原因を教えてくれる。
- 3 失敗はかくすほうがよい。
- 4 原因を見つめ次に生かす人が成長する。

2 自然とのつき合い方を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

人は自然から多くのめぐみを受けて生きています。しかし、自然を思うままに変えようとすれば、災害という形でしっぺ返しを受けることもあります。自然を支配するのではなく、そのしくみを理解してうまくつき合う姿勢が大切です。

- 1 人は自然からめぐみを受けている。
- 2 自然を思うままに変えると災害を招くことがある。
- 3 自然は思うままに支配すべきである。
- 4 しくみを理解してつき合う姿勢が大切である。

3 情報を選ぶ力を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

社会にはあふれるほどの情報が飛びかっています。その中には正しいものもあれば、まちがったものもあります。多くの情報にふれられる時代だからこそ、何が正しいかを自分で考え、選び取る力が大切になっています。

- 1 社会には多くの情報が飛びかっている。
- 2 情報の中にはまちがったものもある。
- 3 情報はすべてそのまま信じてよい。
- 4 選び取る力が大切になっている。

本文と合わない文をえらぼう

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 読書の力を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

本を読むと、行ったことのない場所や、会ったことのない人の考えにふれることができます。自分とはちがう立場を知ること、ものの見方が広がっていきます。読書は、自分の世界を大きく広げてくれる営みです。

1 本を読むと知らない人の考えにふれられる。

2 ちがう立場を知るとものの見方が広がる。

3 読書ではものの見方は変わらない。

4 読書は自分の世界を広げてくれる。

2 問い続けることを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

答えのわかっていることを覚えるだけが学びではありません。「なぜだろう」と問いを持ち続けることこそ、新しい発見の出発点になります。当たり前だと思われていることを問い直す姿勢が、社会を前へ進めてきました。

1 覚えるだけが学びではない。

2 問いを持つことが新しい発見の出発点になる。

3 問いを持つことは学びのじゃまになる。

4 問い直す姿勢が社会を前へ進めてきた。

3 協力の力を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

一人でできることには限りがあります。しかし、それぞれが得意なことを持ちより、力を合わせれば、一人では成しとげられない大きなことも実現できます。たがいの長所を生かした協力は、大きな成果の鍵です。

1 一人でできることには限りがある。

2 力を合わせれば大きなことも実現できる。

3 協力しても大きな成果は生まれない。

4 たがいの長所を生かすことが鍵である。